



オージーサービス社屋外観

1988年(昭和63年)に都市ガス・LPガスを供給する青梅ガス(東京都青梅市)のサービス部門として設立した株式会社オージーサービス。当初は、ガス機器の修理やリフォーム事業を行っていたが、その後、LPガス販売、自動車用燃料販売、リフォーム業など総合的に展開。東京・青梅市を中心とした地域に根差したサービスを提供している。

## 通信回線の変化に伴う課題の中で

以前から電話回線による自動検針を実施していたが、インターネットの普及や通信技術の進化により、検針機器が使用できなくなる問題を抱えていた。久保 正光氏(導管部マネージャー)は、「LPWAは以前から気にはなっていたが、費用面で導入が難しかった」と話す。しかし、補助金制度が後押しし、2023年にLPWAの導入を開始。今回の補助金で設置率100%を達成した。

導入にあたり、複数のメーカーを比較し、愛知時計電機のLPWAシステムを選定。その理由は、クラウド上に「顧客の個人情報」を登録せず運用ができ、個人情報を社外に集積しない同社のセキュリティポリシーにも合致したシステムの特性にあった。また、設置前に顧客情報の登録が不要で設置準備の手軽さも大きなメリットだった。

左から久保氏(導管部マネージャー)、堀内氏(導管部主任)、和智氏(導管部部长)



## 年間1.7万km削減と予期せぬDX化の波

LPWAの100%導入は、業務に劇的な変化をもたらした。「7~8人で2日間かけていた検針業務がなくなり、年間17,500kmもの車両の走行距離が削減、これは杉の木125本分のCO<sub>2</sub>に相当」と堀内 一弘氏(導管部主任)は話す。顧客接点の減少が懸念されたが、外注ではなく社員が点検業務を担うことで、顧客接点を維持。LINEやX(旧ツイッター)も活用し、販促の幅を広げている。

また、以前は、顧客宅でガスが停止しても、連絡がないとわからなかったが、ガス遮断警報がリアルタイムでメール通知するため、担当者がすぐに確認でき、問い合わせにも遮断理由を把握した上で対応が可能となった。また、顧客自身で復帰している場合など、ガス停止の実態も把握できるようになったという。

それら以外にも副産物があった。LPWA設置工事完了の写真データ収集を効率化するため、ノーコードツール『キントーン』を導入。「社員がパソコン操作やデータ管理の知識習得のきっかけとなり、DX化への意識が向上した」と和智 友成氏(導管部部長)は話す。

顧客向けLPWA設置工事のための案内チラシ

〒(郵便番号) 2023年9月吉日  
《住所》  
《方番》 ≪LPガス販売店≫  
《氏名》 《敬称》 株式会社オージーサービス

自動検針機未設置のお知らせ

日頃より弊社のLPガスをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
さて、弊社では安全と安心の向上のため、お客様のごスマートメーターに遠隔でスマートメーターの安全機能の検針・操作・自動検針等が可能となる機能の設置をさせていただく事となりました。  
つきましては、本ご案内をお届けいたしましたお振替より、下記日曜で検針・設置作業をさせていただきますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

訪問期間  
2023年9月25日(月) ~ 10月21日(土) ※日・祭日除く  
※お振替 9:00 ~ 17:00

※弊社の能力の範囲にて訪問・設置作業をさせていただきます。

- ・スマートメーター近隣の配管等に設置するため、敷地内のスマートメーター付近への立ち入りをお願いいたしますが、敷地内に入ることにはなりません(立会い不要)。
- ・作業時間は1台につき、15分~30分程度です。ガスが停止することはございません。
- ・お客様の事前のご負担は一切ございません。
- ・機器の設置に伴い、ガスの検針は検針による検針(データ自動取得)となります。

また、「ガスご断電機のお知らせ」につきましても、郵送でのお届けとなります。

設置イメージ 機器写真

尚、ご在宅の必要はありませんが、ご在宅時に取付作業をご希望の場合は、お手紙ですがご希望の訪問日時を下記までご連絡くださいようお願い申し上げます。

(誠に恐れ入りますが設置後3日以内にご連絡をお願いします。)

お問合せ・ご連絡先 ≪業務委託先≫ 青柳ガス株式会社  
受付時間 平日9:00~17:30 担当：導管部 和智 友成  
TEL 0428-31-8111  
FAX 0120-24-8112

## 未来への展望と導入事業者への助言

同社は、LPWA導入による自動検針をさらに一歩進め、今年から検針票の郵送を有料化し、Web請求への移行を進める予定だ。

最後に、補助金申請する事業者へ「LPWA機器設置業者のスケジュール確保が大変なため、時間の余裕を持ち計画を立てるべき」と堀内氏はアドバイスをくれた。

LPWA導入は、補助金を活用し、初期投資のハードルを下げ、業務の効率化だけでなく、企業のデジタル化意識の向上など、新たな潮流を生む契機となった。

# LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ	カプシカ イヤオジー サービス			会社所在地	東京都青梅市新町8丁目8番地の13		
会社名	株式会社オージーサービス			事業責任者名	和智 友成	役職名	部長
連絡先	部署名	保安グループ		電話番号	0428 - 31 - 8416	従業員数	19 名
	担当者名	堀内 一弘		ホームページ	<a href="https://www.omegas.co.jp/about/outline_ogs">https://www.omegas.co.jp/about/outline_ogs</a>		
会社設立	西暦	1988 年	4 月	30 日	顧客件数	1,842 件 内家庭用	1,556 件 業務用 286 件
事業内容	1. 液化石油ガス販売						
	2. 各種ガス設備工事、ガス器具販売・修理						
	3. オートガス（自動車用LPガス）販売						
	4. 宅地建物取引業、リフォーム事業						
会社の強み	1. 青梅ガスグループの一員としての地域密着・高い信頼感						
	2. 暮らしのアドバイザー！住まいのワンストップ対応力						
	3. お家の困りごとなら何でも解決						
	4. リフォーム後のアフターサービスも万全						

LPWA通信システムの活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <span style="float: right;">(該当項目☑をクリック)</span>						
	<具体的活用方法> ・検針業務 ・メーターからのセキュリティ情報（遮断・警報）の即時確認 ・ペーパーレス化推進のため、料金のWeb明細移行への足掛かりにしたい。						
LPWA通信システムの導入目的	<申請前における業務上の問題点> ・LPガスの需要家が隣市、隣県にまたがっており、検針業務に人員と時間がかかる。（検針員の不足のため負担が大い）						
	<導入によって期待する効果> ・検針業務の削減により、検針員の他業務へ時間を割くことができるようになる。 ・今までは検針や容器交換時にしか確認できなかった、メーターからの異常発呼がすぐさま確認でき、保安の向上が図れる。 ・料金の未払いによる供給停止業務が現地に行くことなく作業が可能となる。						
設置状況	今回設置件数	174 件	累計設置件数	1,877 件	全顧客に占める設置率	100.0 %	
導入費用	総金額	1,305,000 円		内補助金対象金額	652,500 円	補助金額	611,250 円
導入期間(今回分)	補助金申請日	西暦	2024 年	9 月	24 日	所要期間	5 ヶ月
	機器設置完了日	西暦	2025 年	2 月	3 日	実行体制 合計 5 名 内社内 3 名 内社外 2 名	

# LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ( )														

通信機器メーカー選定理由	既採用メーカーであること。(初期導入時の選定理由は顧客名等の個人情報の登録が不要な事、事前登録なしで設置ができること)
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<p>&lt;発生した問題点&gt;</p> <p>①山間部で携帯電波が圏外となる需要家が1件発生した。(SoftBank、docomo回線共に圏外)</p> <p>②LPWAの検針値とガスメーターの指針がずれていることがあった。</p> <p>③電磁波の影響を懸念されたお客様1件から設置を断られた。</p> <p>&lt;上記問題点を改善した方法&gt;</p> <p>①設置を断念した。</p> <p>②ガスメーターの交換(メーカー調査の結果、機械カウンタと電子カウンタの差異が発生していたことが原因)</p> <p>③説明をしたがご理解をいただけず設置を断念した。</p>
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	<p>・検針業務にかかる負担が軽減され、車両移動による1,756kg/年のCO<sub>2</sub>の削減(杉の木換算125本相当)</p> <p>・ガスメーターの(断が実際には、かなりの数が起きており、お客様自身で復帰されているケースが多いことがわかった。</p>
導入によって削減できた費用	金額的には出していないが、今まで3人で3日間かかっていた検針業務が1人で0.5日まで人件費、車両移動による燃料が削減。
反省点	設置率100%分の端末設置をしていく中で、作業途中で閉栓が思いのほかに多く発生して、事業終了時には機器を設置した未契約需要家が10%以上となってしまい、僅かではあるが補助金の減額となってしまった。

他用途への 拡充意向	<input checked="" type="checkbox"/> Web請求 <input type="checkbox"/> SNS運用 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔地開閉栓 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急時対応 <input type="checkbox"/> 最適な料金提案 (該当項目☑をクリック) <input type="checkbox"/> 機器拡販 <input type="checkbox"/> 省エネ提案 <input type="checkbox"/> 電気等セット販売 <input type="checkbox"/> イベントへの集客 <input type="checkbox"/> その他 ( )
---------------	--

自己評価	5 大変だった 4 やや大変だった 3 普通 2 あまり大変ではなかった 1 大変ではなかった	作業項目	評価 (数字を入力)	評価5または4の具体的な理由
		●申請作業	3	普通
●仕様確定	1	大変ではなかった		
●メーカー選定	1	大変ではなかった		
●事前周知	3	普通		
●設置工事	3	普通		
●試運転	1	大変ではなかった		
申請から導入後(現在)までにあった、 反響・意見・要望等	社内から	ゴールド認定の取得		
	業界・取引先などの社外から	特になし		
	お客さまから	特になし		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	<p>・申請書類の日付の間違いによる再提出があったのでよく申請手順等を確認した方がよい。</p> <p>・いつ補助金の交付が決定するかわからないため、設置業者とのスケジュールの調整が難しかったので、余裕をもった設置計画を立てるとよいと思う。</p>			